



拓北・あいの里地区社協ミニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会

会長：渡邊 寛 広報部長：森下 満

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 99

令和 7年 7月 23日

**7月9日(水)に社協常任理事会が行われました。
各部の活動状況と今後の予定についてご報告します。**



6月以降、例年になく暑い日が多く、これが8月まで続きそうです。水分・塩分補給をこころがけるなど、体調に気を付けましょう。

■ ボランティア企画部より ■

○生活支援ボランティア活動を通じて、あいの里高等支援学校との交流が継続しています

- 6月16日(月) 13:30~15:00、あいの里高等支援学校第1体育館において、令和7年度 社会生活 講話「地域を知ろう」が「あいの里のまちづくりについて~地域の一員として、みんなの笑顔を増やすためにできること~」をテーマに行われ、その講師として佐々木まちづくりセンター所長及び当会の柴田副会長、木村副会長が招かれ、あいの里の地域について、あいの里地区の取組、あいの里高等支援学校の生徒に期待することについて、3年生57名に対して講演しました。去る4月末にあいの里高等支援学校の生徒さん達の授業の一環として行われた生活支援ボランティア活動の実施を契機として、当会と同校との交流が継続し、深まりつつあります。23日(月)には、環境・流通サポート科の10名位の生徒さんたちが、地区センターの窓拭きボランティアを実施しています。

■ 総務部より ■

- 北区第2地域包括支援センター拓北・あいの里支所開設に伴い、令和5年3月発行の相談先電話番号一覧表：「困った時は先ずここに！」の該当欄を変更する必要があるとあり、全体レイアウトはそのままに改訂版を発行し、全戸配布することとしました。
- 北海道医療大学福祉マネジメント学科より、(仮)地域の他世代交流事業の可能性についての協力依頼があり、前向きに検討を進めているところです。
- 令和7年度福祉除雪説明会及び意見交換会が、8月30日(土) 14時から、地区センター1階多目的ホールにて開催の予定です。

■ ふれあい交流部より ■

- 7月10日(木)の「ひまわりクラブ」は地区センター和室に2組4名の親子さんが参加され、自由遊び、絵本の読み聞かせを楽しまれました。引き続き、出席カード、お誕生日カードを用意し、七夕のフォトスポットコーナーも設けました。
次回は8月7日(木) 10:00~11:30、地区センター和室にて開催予定です。
- 6月26日(木)の「福まちサロン」は地区センター多目的ホールに19名の高齢者が参加され、脳トレ(七夕クイズ)、なんちゃってモルック(正規の木製の棒とピンの代用に、ペットボトルに少量の水を入れたものを使用)、歌と体操、ピンゴ大会、お誕生日おめでとう会、などを楽しまれました。
次回は7月24日(木) 拓北会館、次々回は8月21日(木) 地区センター2階集会室にて、いずれも10:00~11:30で開催予定です。



あいの里高等支援学校 3年生 57名に対して、木村副会長、柴田副会長、が6月16日におこなった講話「地域を知ろう」の様子



2組4名の親子さんたちが参加した、7月10日のひまわりクラブで、自由遊びをしているところ



19名の高齢者が参加した、6月26日の福まちサロン。軽い体操をしているところ



福まちサロンで、「なんちゃってモルック」をしているところ

■ 地域ケア部より ■

6月例会は17日(火) 18:30~20:00、地区センター2階集会室にて、この4月に当地区に開設された北区第2地域包括支援センター拓北・あいの里支所の支所長・社会福祉士・照井伸洋(てるい・のぶひろ)さんをゲストに「こんにちは! 包括です」をテーマに地区センター2階集会室にて話題提供をいただき、意見交換を行いました。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行われ、参加者は地区センター27名、オンライン2名、合計29名。

話題は、1.地域包括支援センターのこと、2.支所のこと、3.介護保険のこと、の3点です。

1.地域包括支援センターのこと:以下の4つのことをおこなっています。

①総合相談支援窓口:介護や福祉など、さまざまな制度や地域のサービスについての相談をお受けし、訪問などにより必要なサービスを調整します。この4月に支所が開設されて2ヶ月余たちましたが、4月、5月とも相談件数が60件以上ありました。その相談内容は、「さびしい」、「物忘れが気になっている」、「施設に入所したい」といったものも多く、一戸建てに一人暮らしの方、拓北地域の方が多く印象がありました。

②権利擁護業務:悪質な訪問販売等による被害の防止や、高齢者虐待の防止を行い、高齢者の安心した暮らしを応援します。とくに最近、ニセ警察詐欺や、SNSでの投資詐欺、ロマンス(結婚)詐欺などが多く見られ、注意を喚起しているところです。

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務:高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすために、ケアマネジャーへの助言や、地域のさまざまな関係機関(地区社協、北区役所・北区社協、予防センターなど)とのネットワークをつくり、地域での生活を支えます。

④介護予防ケアマネジメント業務:要支援1・2の方、事業対象者の方が自分らしく生活できるようサービス計画の作成を行い、必要なサービスが受けられるように支援します。

これらの相談には、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(ケアマネジャー)などの資格をもつ専門職員が対応します。

2.支所のこと:現在、専門職5人、ケアマネジャー2人、事務1人の合計8人が、平日の8時45分から17時15分まで勤務しています。毎朝の打合せの後、必ず誰か1人を残し、あとは訪問のために出かけることが多いです。

3.介護保険のこと:札幌市が発行している冊子、「なるほど実になる介護保険一制度のしくみとサービス利用の手引」令和7年度(2025年度)版、46頁、札幌市、があり、そこに詳細に記述されています。無料で配布していますので、支所、区役所、本所にご用があった時にでも、ぜひ手に取っていただければと思います。

話題提供後の、会場の参加者との質疑応答では、札幌市の冊子「なるほど実になる介護保険一制度のしくみとサービス利用の手引」は教科書的で、利用者にとってはハードルが高い、より利用者目線からのわかりやすいものがあったらいいのでは、という提案がありました。

北区第2地域包括支援センター拓北・あいの里支所では、高齢者に関する様々なご相談一介護保険ってどんな制度?、親の介護について相談したい、高齢者の住まいの探し方を知りたい、認知症について知りたい、一人暮らしで今後が心配、等々、に応じます。まずはお気軽にご相談ください。

電話:011-214-9323、住所:あいの里2条5丁目1-45 あいの里三育ビル3階、営業時間:8:45~17:15(土日祝休業)

なお、7月例会は15日(火) 18:30~20:00、地区センター2階集会室にて、介護予防センター茨戸・保健師・中村しず香(なかむら・しずか)さんをゲストに「介護予防センター茨戸とは?」をテーマに、話題提供をいただき、意見交換を行いました。その内容については次号の100号で報告いたします。



地区センター27名、オンライン2名、合計29名が参加した、6月17日の地域ケア部の例会

◇ 今後の予定 ◇

8月例会は19日(火) 18:30~20:00、地区センター2階集会室にて、石狩市認知症地域支援推進員(株式会社Sun・Ju・想/主任介護支援専門員)・木元国友(きもと・くにとも)さんをゲストに「認知症にやさしいまちを目指して~注文をまちがえるレストラン in いしかりの取り組みを中心に」をテーマに、話題提供をいただき、意見交換を行う予定です。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行います。「ケア施設町内会会員メンバーリスト」登録者にはZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール takuai.jimu@gmail.com でお問合せ下さい。